

平成24年度第2回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	平成24年8月2日(木) 午後3時00分から
場 所	福岡国際ホール 志賀の間
出席者(委員)	九州大学大学院医学研究院医療経営・管理学講座 教授 尾形 裕也 福岡市医師会 副会長 長柄 均 福岡県看護協会 副会長 丸山真紀子 公認会計士 吉水 宏
事務局	福岡市保健福祉局局长, 理事, 同保健医療部長, 同病院事業課長, こども病院・感染症センター事務局長, 総務課長, 医事課長, 福岡市民病 院事務局長, 総務課長, 医事課長, 福岡市立病院機構本部事務局総務課 長,・・・ほか
会議次第	1 23年度業務実績について ① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示 ② 全体評価の意見集約 2 財務諸表の承認の際の意見について 3 その他
配付資料	1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成23年度業務実績に関する 評価結果報告書(案) 2 財務諸表の承認の際の意見書(案)

1 23年度業務実績について

① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示

小項目評価 第1 1 医療サービス

※資料1について、事務局から説明。

○委員

病院の自己評価委員会について、昨年と同じ編成で評価しているのか。

○法人（こども病院）

こども病院の自己評価委員会につきましては、院長、副院長、各部門のトップが中心になって構成しております。特に構成は変えていません。

○法人（市民病院）

市民病院は、経営五役会議メンバー（院長、副院長、診療統括部長、看護部長、事務局長）に加え、経営企画課、医事課、総務課のメンバーが入った構成となっており、昨年と変わっておりません。

○委員

25ページの評価の「トップクラス」という言葉の意味を教えてください。最近、医療機関の広告内容の用語の中で不適切ではないかと指摘されたものに、これに類するものにクレームが出ているので、この表現が適切かどうか伺います。

○法人（市民病院）

当院では、肝臓がんについては、肝、胆、膵の領域に対応しております。脳卒中についても、連携パスを含め努力しております。脊椎に関しましても、以前から九州医療センターと双壁で、トップクラスというのは、市内で三本指には入るという解釈で表現を使わせていただいております。トップクラスという表現が、委員ご指摘のとおり適切かどうかということに関しましては、表現を変えた方が良いということであれば、変えていきたいと思っております。

○委員

質がトップクラスなのか、扱っている症例数がトップクラスなのかということも、結局、渾然一体として表現されているのかと、今の説明ではそう感じます。件数がトップならばそれでいいし、市内の病院の中での件数、あるいは症例の内容、困難度など客観的に表現した方が良いというのが私の意見です。

○委員長

ごもっともなご指摘だと思います。25ページの最初の所の「280件」、これは発行数がトップだということ、これは問題ないと思います。3番目の〇は「228件と市トップクラスを維持した」と、これはやや曖昧かなと、市内第何位という表現もできるのではないかと思います。右の評価の欄の「治療実績が市内トップクラス」という表現は曖昧ですね。件数を言っているのか、質まで含めて言っているのか、評価でするのでその辺は少し曖昧になっているのかも知れません。そういう面では、言葉使いを正確にするということを心がけたいと思います。

#### ○事務局

表現といたしまして、「トップクラス」という自己評価の表現を使っておりますが、もう少し柔らかい市内でも有数の治療実績（件数）など、次回工夫をさせていただきたいと思います。

#### ○委員長

件数など正確に1位であれば、それは言うていただいて良いと思います。ただし、質という話になると、何を根拠に言っているのかということになるので、注意してください。

#### ○事務局

自前の手術件数は正確ですが、市内の全ての大学病院から出してもらって実績がどうこう言うのはマスメディアの評価の部分で引用することもあるので、正確に書くように努めたいと思っております。今持っているデータには、九州大学病院の肝臓がんの手術実績は一覧に無い状況ですので、十分注意してまいります。

#### ○委員長

「3」または「4」という評価についてですが、基準も難しいところがあって、出てきているのを見ると、かなり控えめな評価をされています。目標値が実績値を全部上回っていた場合には「4」となり、1つ2つの場合には「3」とどまっているようですが、委員の皆さん、いかがでしょうか。

#### ○委員

本来、市民病院としてあるべき姿という目標と、地域医療支援病院という基準で作られたカテゴリー、いつの間にか市民病院としてではなくて、地域医療支援病院としての基準をクリアしたかということにすり替わっているような感じがします。基本的には市民病院としてどうあるべきだという目標を掲げて、それに向かって、結果的には地域医療支援病院の基準などを軽くクリアしているから「4」という方向に持って行かれる方が本当は良いのではないかと。市民病院の評価を行っているのであって、地域

医療支援病院の評価を行っているわけではない。

○事務局

今のご指摘は、こちらも十分認識しております。けして、地域医療支援病院が最終的なゴールではなく、更なる高みを目指してということですので、基本的には市民病院として年度計画に掲げている目標を達成したかどうかを評価していただければと考えております。

○委員長

この目標値を設定したときに地域医療支援病院になるというのが、ひとつの重要な目標だったので、それが前面に出ている面はあると思いますが、今後は委員のご指摘等も踏まえて、市民病院としての機能をどのように評価していくか、この目標値の設定等も考えていきたいと思っております。

1 23年度業務実績について

① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示

小項目評価 第1 2 医療の質の向上

※資料1について、事務局から説明。

○委員

35ページですが、自己評価も含めて「3」と比較的控えめな感じがします。新たに周産期医療について要望があって、産科を開設し、地域周産期母子医療センターとして認定された。このことは今後の移転拡充をしていくうえでも、重要なキーワードになる部分で、一步を踏み出していただいたということについては、ある程度たいへんだらうということは思うので、やや控えめの評価ではないかと思っております。必要な人材を確保してスタートするのに「3」というのはどうかと思っておりますが、「4」にできなかった理由はあるのでしょうか。

○法人（こども病院）

ご指摘がありましたように、産科につきまして、新病院では周産期の本格的な医療に取り組むということで、目標を掲げておりますが、現病院でも非常に重要な課題と考えており、現在の病床を活用するということで、とりあえず4床という形で緊急避難的にスタートさせていただいております。そういう背景もございまして、新病院に向けてスタートを切った段階であるということで、「3」という評価をさせていただきました。

○委員

「4」としても良いくらいの「3」と理解しておきます。

○委員

医療の質の向上という流れの中で、42ページの「信頼される医療」ですが、昨今医療訴訟が非常に多いと思いますが、この一年間でその辺の動きがあったかどうかお聞かせください。

○法人（市民病院）

市民病院では、この一年訴訟にまでなっている案件はございません。クレームのレベルは何件か発生しております。

○法人（こども病院）

こども病院では、訴訟に至るようなケースは、ここ数年あっておりません。

○委員長

43ページの「信頼される医療」は評価「3」ですが、45ページの目標値と実績値を見ると全て目標をクリアしていると理解して良いのですよね。それでも「3」というのは何か理由があるのでしょうか。

○事務局

評価基準といたしましては、82ページの1の(1)に書いておりますが、評価「3」につきましては年度計画を順調に実施している、評価「4」というのは年度計画を上回って実施しているということで、ほぼ計画どおりが評価「3」、期待していたより成果が上がっているのが評価「4」ということで、非常に主観的な評価にはなりますが。

○委員長

大幅かどうかは別にして、年度計画を上回っているのは間違いないので、私は評価「4」でも良いと思いますが、他の委員の方いかがでしょうか。

○委員

独法化で一番効果が上がる部分と言えば、これが最も重要なのです。独自の裁量権で人が増やせる、雇用もできる、組織替えもできる、あるいは色々な診療報酬加算が得られるような手術も果敢に動ける。ここを評価せずして独法化を評価するところはないのです。ここが評価されないとなると、独法化の意味が無いような気がします。

○委員

賛成です。

○委員長

今後のことも考えると評価できるときに評価した方が良いです。逆に実績が上がらないときには、それなりの評価をせざるを得ないですから。それでは意見が一致したようですので「4」にするというのが我々の意向です。

1 23年度業務実績について

① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示

小項目評価 第1 3 患者サービス, 4 法令遵守と情報公開

※資料1について、事務局から説明。

○委員

「患者サービスの向上」で両病院とも、評価の判断理由としてクレジットカード支払のことを述べているが、これだけでは違和感があって、せっかく色々な患者サービスに取り組んであるので、もう少しそちらの内容をコメントした方が良いと思うがいかがでしょうか。

○事務局

コメントについては工夫します。

○委員長

この部分は目標値が立てにくい部分なので、評価も定性的なものが多くなっていますが。

1 23年度業務実績について

① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示

小項目評価 第2

※資料1について、事務局から説明。

○委員

82 ページの評価基準でいきますと、「評価5」は年度計画を「大幅に」と表記があり、61 ページの「増収」のコメントに「大幅な増収を達成できた」とあるが、評価基準によれば「評価4」は良いのでしょうか。それとも大幅という表現を修正されますか。

○事務局

61 ページの自己評価の判断理由に記載していますが、特に市民病院につきましては、22 年度と比較しても約 3 億 5 千万円を越える増収を達成しており、かなり頑張っているということで、評価としても「大幅に」という表現をさせていただいております。ある意味でメリハリを付けた評価をしていただくということであれば、「5」という評価をいただくことは病院としても喜ばしいことだと思いますが、事務局としても控えめに評価されていると考えております。

○委員長

ここは、「増収」ということなので、それから見ると大幅な増収ということですから「評価 5」ということになると思うのですが、一方で 62、63 ページの目標値を見ると必ずしも増収ということだけでない、利用率や患者数を見ると目標値を達成していない部分が出てきてるわけですよ。元々の目標値の設定がこうなっているということもあるのかも知れませんが、単純に増収ということで見れば、「大幅」で「5」ということになるのかも知れませんが、こういう点までどう判断するかということではないかと思います。

○委員

全く公費が投入されていなかったら「5」で良いと思いますが、やはり運営費負担金が少し入っているということを考え、民間の医療機関の感覚から言うと「5」というのはどうかという気がしないでもないです。数字的には確かに大幅に増収しているというのは、良いときに評価しないといけないのかも知れませんが、運営費負担金のことを踏まえると「4」という感じがします。

○委員

委員と同じ意見です。それと関連するのですが、59 ページのこども病院の方にも「大幅な増収」という文言があるので、訂正するのならば、合わせて訂正してください。

○委員

59 ページのコメントが、文章になっていないような気がします。文章として通じないような気がします。

○委員長

そうですね、非常に読みにくいですね。論理的にはおかしい感じもするので、少し工夫して整理しましょう。

○尾形委員長

68, 69ページの「人事・給与」ですが、私は評価「3」は「4」で良いと思うのですが、目標値を実績値が上回っていますし、医師の人事評価制度を導入したことも評価できるのではないかと思う。前年度の評価「4」を「3」に下げているのは、給与費対医業収益比率50%以下を目標にしているということですが、それはそれとして単年度の目標値を実績値が上回っているという意味では「4」にして良いのではないかと思います、いかがでしょうか。

○委員

なお書きの後のことをより多く評価すれば、過去の状況を考えると「4」でもおかしくないのではないかと思います。

○委員

難しいですね。50%を切ったときに「4」でも良いかなと思いますが。

○委員

こども病院の目標値が59.3%に対して、実績値が53.2%で6ポイント下がっているのは、たいへんなことだと思います。この評価は年度計画に対しての評価ですから、この業界ではこれ位が標準値ということではなく、年度計画に対してどうだったかという判定でいきますと、これは評価を上げて良いのではないかと思います。

○委員長

委員会としては、そういうところでございます。

1 23年度業務実績について

- ① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示  
小項目評価 第3, 第4

※資料1について、事務局から説明。

○委員長

77ページのコメントの表現ですが、「高度医療の提供による増収を図る」と書いてありますが、ここは質の高い医療を提供するということであって、高度医療とは何かという話になるとややこしい話になるので、ここは「質の高い医療の提供による増収を図る」と修正した方が良いと思います。

○委員

現場の医師やコ・メディカルの方々の意識が相当変わって、経営を意識するようにな



らないと、システムの買換などでは良くならないと思うので、どこかで現場スタッフの努力を評価できれば良いと思うのですが、現場を鼓舞するという意味でも必要と思います。制度的なものが強調されるものですから、支えているのは現場スタッフではないかと思えますから、コメントでも文章でもいいので評価してあげると良いと思いますが、いかがでしょうか。

#### ○委員長

おっしゃるとおりだと思います。是非評価したいと思います。コメントで少し表現を入れたらどうでしょうか。例えば、71ページの経営会議をやっているとか、経営基盤の確立などと言っていますが、そういう仕組みの話だけではなくて、職員の方々のモチベーションがこれで上がって、積極的に参加してみたいなことを病院とも相談して、工夫していただいてはどうかと思います。その辺ちょっと検討してください。

#### ○事務局

検討させていただきます。

#### 1 22年度業務実績について

- ① 小項目評価及び大項目評価の事務局案の提示  
大項目評価
- ② 全体評価の意見集約

※資料1について、事務局から説明。

#### ○委員

新病院についてはかなり進捗してきていると思うので、もう少し具体性をもった表現にされても良いのかという気がします。それから、地域医療支援病院と言えば、こども病院もそうなのですよね。指定されたことそのものが収入増に結びつくんです。本来、地域医療支援病院に結果として該当する病院になってほしいわけです。本来の目標として掲げて、それを達成できたかどうかということについて評価をしていただきたい。そもそも福岡県は指定されすぎていますので、今見直しの議題に上がっているぐらいのことで、はっきり言ってこの先どうなるかわからないんです。もちろん評価に入れられてかまいませんが、これはクリアして当然という表現にしていきたいと思います。次に、クレジットカード支払が最初に出てきますが、これもひとつの改善ではありますが、最初にこれが出てくるのはどうかと思います。ここで最も評価すべき点は、独法化して初めて目に見える効果が出たという点、数字として表れたというところをメリハリつけた表現でしていただきたい。それが今回の評価委員会の本筋ではないかという気がします。

○委員

独法化されたことによって、どういうことがメリットでということがわかるようにしていただきたい。例えば、収入などはグラフなどがあると、わかりやすいのかなという気がします。それと、スタッフの努力というのを是非入れていただきたいと思います。

○委員長

今まで出た意見を踏まえて、独法化の効果がこういう形で現れたというところは、きちんと書いていただいて、委員からご指摘があった増収というところで大きな成果が上がっているというところ、それから、職員のモチベーションの面も含めて、全体として効果が出たということを書いていただくことかなと思います。22年度は診療報酬のプラス改定があった年ですので、23年度はそれが無い中、実力でこの成果を勝ち取っておられる訳ですから、その辺も踏まえた表現も是非していただきたいと思います。単年度評価ですから、成績が良かったときにはそれなりの評価をし、また、問題があったときにはきちんと指摘するというメリハリの付いた評価をしたいと思いますので、よろしくをお願いします。今まで小項目についての評価で、色々ご意見が出ていたと思いますので、それを踏まえて文章化をして次回諮っていただきたいと思います。

2 財務諸表の承認の際の意見について

※資料2について、事務局から説明。

(特になし)

○委員長

本日、委員がご欠席ですが、事前に事務局のご意見を伺っていると聞いておりますので、紹介していただけますか。

○事務局（病院事業課長）

委員につきましては、事前に同じ資料をお渡ししております。小項目及び大項目の事務局案につきましては、すべての項目において特に異議はないというご意見をいただいております。また、本日の委員会の結果を合わせて報告をさせていただいて、改めて意見をお伺いするようしておりますので、よろしくをお願いします。

3 その他

※事務局から説明

○委員長

それでは、本日の委員会は、これを持ちまして終了したいと思います。